



地域防災・減災センター主催
グローバル環境・防災学研究会共催

真備緊急治水対策プロジェクトについて ～H30.7水害からの復旧・復興に向けて～

平成31年7月の西日本豪雨では、高梁川水系小田川やその支川では史上最高の水位が観測され、堤防決壊が発生し、甚大な浸水による被害が発生しました。その西日本豪雨から2年半が経とうとしています。国土交通省ではこのような災害を繰り返すことがないように、小田川合流点付け替え事業や堤防整備、河道掘削といった「真備緊急治水対策プロジェクト」を2023年度の完了を目指して実施しています。本講演では、そのプロジェクトを地域の方々と進めている高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所の柘谷所長に、現在の復旧・復興の状況やプロジェクトの広報の工夫、普段はなかなか知ることができない国土交通省の仕事の様子についてお話頂きます。防災に携わるお仕事をされているだけでなく、公務員に関心のある学生にとっても有益な内容になると思います。ふるってご参加下さい。



- 日程** 2021年1月27日（水） 参加費
無料
- 時間** 15:00～16:30（待機室14:30～）
- 会場** Zoom によるオンライン講演会 CPD認定
1.2単位 
- 講師** 柘谷 有吾（国土交通省中国地方整備局
高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所長）

お申込方法

本講演会はZoomミーティングを利用します。山口大学地域防災・減災センターのホームページより **1/22（金）までに事前申込** をお願いいたします。申込後、登録確認メールが届きます。講演会の参加方法および注意事項は当日までにメールいたしますのでご確認ください。

お問い合わせ・お申込み

山口大学 地域防災・減災センター

〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1

TEL:0836-85-9308

E-mail: cldpm@yamaguchi-u.ac.jp（担当：青木）



山口大学 地域防災・減災センター 

<http://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cldpm/index.html>